

ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト

平成30年度予算額 **5.7億円**（17.5億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 小型汎用ロボットの導入コストの2割削減に向け、小型汎用ロボットの本体価格を引き下げるべく、汎用的な作業・工程に使える小型汎用ロボット（プラットフォームロボット）の開発（ハードウェア・ソフトウェアの共通化）を行います。
- また、「ロボット新戦略」（平成27年2月10日 日本経済再生本部決定）に基づき、ものづくり分野とサービス分野において、これまでロボットで行うことができなかった作業や工程について、ユーザーニーズと市場化出口を明確にした技術開発を実施します。

成果目標

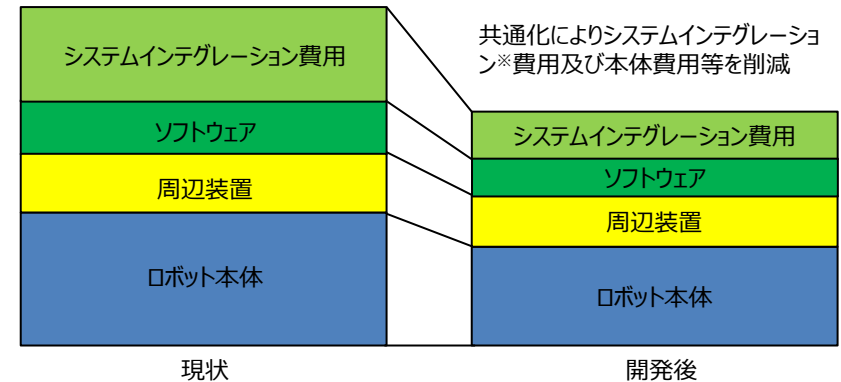
- 平成27年度から平成31年度までの5年間の事業であり、平成31年度までに、上市可能なレベルのロボットを25種類以上開発することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

プラットフォームロボット



汎用的な用途に活用できるプラットフォームロボットを開発（ハードウェア、ソフトウェアの機能要素を共通化）することで、ロボットシステムの導入コストの削減を図る。（※多種多様なロボットや周辺装置を組み合わせ、最適な自動化システムを構築すること。）

これまでロボットで行うことができなかった作業や工程



整列されていない部品のピッキング工程のロボット化等